

歴史文化・産業観光

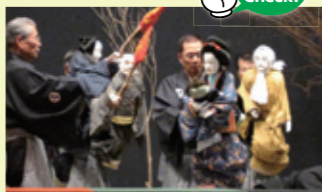
伝統文化、京都丹波の営み

歴史にふれる

京都丹波を貫く山陰道、大堰川・保津川・由良川。古代より人々はこれらのルートをたどり、文化を育んできました。代々受け継がれてきた祭事を訪ね、歴史に思いをはせてみては。お問合せは各観光協会まで。

和知人形浄瑠璃(京都府無形民俗文化財) [B-2]

江戸時代末期、農閑期に楽しんだのが始まりとか。一人で大型の人形を操る「一人遣い」が特徴。京丹波町・道の駅「和」伝統芸能常設館では、定期公演が行われています。



田原の御田(お田植まつり)(重要無形民俗文化財) [C-3]

五穀豊穡祈願のお田植まつり。即興的な進行は、かつての狂言の様子をうかがわせます。

5月3日 南丹市日吉町 多治神社



たうた かくら 田歌の神楽 [E-2]

口頭伝承だけで400年にわたり受け継がれてきた五穀豊穡を願う祭り。村人が、神主、天狗、奴、ひよっこ、お多福、たるおい爺に



仮装し行列する。ユニークな道中の奴振り、「神楽」の披露など見どころの多い独特の祭り。

7月14日 南丹市美山町 八坂神社

亀岡祭山鉾行事(京都府登録無形民俗文化財) [C-5]

709年(和銅2年)に創建された鍬山神社の秋季大祭で、水害などの厄災除けと豊かな実りへの感謝のお祭です。宵宮は亀岡市内山鉾町ごとに山飾り・囃子・イベントなどを開催し、本祭では11基の山鉾が城下町を巡行します。

10月24日(宵宮)
25日(本祭)



佐伯灯籠人形浄瑠璃(重要無形民俗文化財) [C-5]

菫田野神社など四社合同の祭礼。鎌倉時代、宮中より菫田野神社に灯籠が下賜されたことを祝ったのが起源とされます。串人形を使った人形浄瑠璃も奉納されます。

8月14日 亀岡市 菫田野神社



京都丹波の明智光秀ゆかりの地

数々の功績を残し、戦国時代の歴史を大きく動かした“明智光秀”。大河ドラマの主人公として描かれましたが、亀山(現在の亀岡)、丹波の民衆に敬われ、領国経営にも努められたから、連歌や茶道にも造詣が深い教養人でもあり、武将、統治者、愛妻家という様々な姿が再認識されています。丹波平定を成し遂げ、この地を治めた光秀ゆかりの地を巡ってみませんか。

亀岡光秀まつり(毎年5月3日)

戦国時代の智将・明智光秀公の遺徳を偲び、市民をあげて顕彰する市内最大規模の春まつりとして開催され、光秀公の勇壮な武者行列を再現し、城下町を練り歩きます。

●問合せ先 JR亀岡駅観光案内所



丹波亀山城跡 TEL 0771-22-5561 [C-5]

明智光秀が、天正5年(1577)頃、丹波攻略の拠点とするために丹波亀山城を築城。

●問合せ先 大本本部総合受付 亀岡市荒塚町内丸1 (見学の際は受付に申し出が必要)



谷性寺 TEL 0771-26-2054 [B-5]

明智光秀の首塚が祀られ、命日にあたる6月14日に回向が行われています。初夏には明智家の家紋である桔梗が門前「きぎょうの里」で咲き乱れ、「桔梗寺」「光秀寺」とも呼ばれています。丹波亀山城下町から移築した明智山門があります。

●場所 亀岡市宮前町猪倉土山39



明智越・唐櫃越、老ノ坂 TEL 0771-22-0691

明智光秀が、1万5千の軍勢を三隊にわけて、京の本能寺へ進軍したとされています。現在、明智越、唐櫃越はハイキングコースとなっています。

●問合せ先 JR亀岡駅観光案内所



御影山城跡(出雲大神宮) [C-5] TEL 0771-24-7799

出雲大神宮の背後にある出雲山が城跡。丹波の柳本伊予守が築城したとされています。その後丹波守護の内藤国貞が支配下に置き、明智光秀軍が侵攻した際は、国人衆が防戦したと伝わっています。

●場所 亀岡市千歳町千歳出雲無番地



八木城跡 TEL 050-1724-4070 [C-5]

丹波国内では、八上城、黒井城と並ぶ三大城郭のひとつ。丹波守護代内藤氏の居城として伝えられますが、城は、明智光秀の丹波侵攻により没落しました。現在は、石垣の一部や曲輪跡が山頂部だけでなく尾根づたいや谷間にも残り、当時の雄大な様子を伝えています。

●問合せ先 南丹市観光協会



玉雲寺 [B-3] TEL 0771-89-1717

(京丹波町観光協会) 天正7年(1579年)、明智光秀の市森城攻撃によって寺の建物や宝物はほとんどが焼失。現代の境内・本堂・庫裏は光秀が禅氏の道徳を尊崇し、天正8年に再興したものです。近隣には琴滝、須知城跡があります。

●場所 京丹波町市森滝見9



産業観光・伝統・匠

(要予約)料金、受入時期、受入人数等の詳細については各施設にお問い合わせください

～産業観光・工場見学～

恵まれた自然環境と農林産物を生かした食品加工など、様々な工場があり、京都丹波ならではの産業を形づくっています。おなじみの商品の製造工程がご覧いただけます。

丹波ワインハウス事業株 TEL 0771-82-2003 [B-3]

ぶどう畑やワインの製造工程が見学できます。おすすめワインの試飲も。レストランでは丹波の食材にこだわったお料理とワインを楽しめます。



石井食品(株)京丹波工場 TEL 0771-82-2131 [B-3]

原材料の履歴管理や生産工程、検査体制のご紹介をします。工場では食べられない作りたてのミートボールなどの試食もできます。詳しくはホームページをご覧ください。



侷長老 TEL 0771-84-0018 [B-2]

長老ヶ岳のふもとで、こだわりの丹波の地酒を造る酒蔵です。酒蔵見学ときき酒が体験できます。



株井筒ハッ橋本舗 新光悦 TEL 0771-68-2800 [B-4]

京都新光悦村にオープン。ハッ橋の製造現場を見学し、休憩、お買物ができます。予約をすれば手焼き体験も楽しめます。



雪印メグミルク(株)京都工場 TEL 0771-43-2150 [C-4]

雪印メグミルク(株) 京都工場 池上製造所 TEL 0771-42-6871 [C-4] 牛乳をはじめ、乳飲料、果汁、ヨーグルトなどの製造工程や品質管理室の見学とビデオの上映があります。



竹岡醤油株 TEL 0771-26-3007 [B-5]

波動理論に基づき、いつもモータルト等のクラシック音楽を流し、醤油造りをしています。



大石酒造(株)の館 TEL 0771-22-0632 [C-5]

酒の館、本館と本蔵の酒造見学ができます。伝統ある手づくりの技、蔵元ならではの丹波のきき酒をしていただけます。また、美山店ではきき酒と販売をしています。



丹山酒造(有) TEL 0771-22-0066 [C-5]

「酒造りは米作りから 米作りは土壌から」を基に丹波で収穫した自然農法米山田錦の清酒をご用意しております。利き酒も行えます。



京都丹波には引き継がれる技術、伝統が息づいています。また、歴史と文化を体験できます。

京都ほづ藍工房株式会社 TEL 080-4646-1220 [C-5]

いったん途絶えた「京の水藍」は、徳島の藍師の手によって脈々と受け継がれ、ここの地で復活しました。藍染め体験は要予約。



将大鍛刀場 TEL 0771-56-8502 [B-5]

京都府で有数の鍛刀場。刀剣、特に日本刀を作る職人、刀匠として、この京都丹波の地に鍛刀場をかまえています。【見学のみ不可、体験要事前予約】



天然砥石館 TEL 070-2275-1466 [C-5]

亀岡市で産出された丹波青砥や合砥の他、全国各地・世界の貴重な天然砥石を展示しています。体験型博物館として、天然砥石による研ぎ体験コーナーや、販売コーナーも備えています。



京すだれ川崎 TEL 0771-22-6833 [C-5]

夏の風物詩でもあるすだれは、窓の外や軒先に垂らされ、日よけ、目隠し、虫よけなどの目的で使われています。お店は、ログハウスの展示場と工房があり、工房は「木・竹の加工場所」と「すだれ編み場所」などに分かれています。【見学のみ不可、体験要事前予約】



京都丹波の陶芸 TEL 0771-22-0691

(JR亀岡駅観光案内所) 京都丹波には窯元が数多くあり、百年以上続く窯元から作品制作の場としてこの地を選んで工房を開いた陶芸作家がいます。陶芸体験・教室も開催されています。

■藤井陶苑 [B-5] TEL 0771-26-2264
■昭楽窯 [C-6] TEL 0771-27-3001
■亀京窯 [B-5] TEL 090-3164-6731

